



わたしは雲の中にわたしの虹を置く。  
これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。

—創世記9章13節—

### 第21期主題聖句

目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。  
何事も愛をもって行いなさい。 コリントの信徒への手紙一 16章13節～14節

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## 祝 御 降 誕

☆☆ 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。 ☆  
☆☆ の方こそ主メシアである。ルカによる福音書2章：11節 ☆  
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## 報告

第21期第2回会長会 2009年10月24日(土) 10:30-14:00 東京教会にて

—23教会から50が名出席—

報告 安藤淑子

### I. 第一部 開会礼拝

平岡仁子牧師に「ディアコニアに生きる～福音的役割分担」の奨励をしていただきました。聖書の中での女性の伝統的な役割に、新しい光が当てられ、聞く者の耳と心を大きく開いてくださいました。今回は会長会に出席されない姉妹にも、東教区女性会活動への献金を予め呼びかけていたこともあり、女性会として献金をしてくださった教会が3教会ありました。献金は¥58,400になりました。感謝いたします。

### II. 第二部 報告と提案、グループ懇談等

1. 第二部は参加者の自己紹介と「祈りの葉」の交換から始まりました。今期の役員会は女性会会員が「祈りの葉」を交換することを呼びかけています。「シャロンの花だより」前号にもこの「祈りの葉」を挿入しましたが、葉の追加注文は大歓迎です。

2. 役員人事—野田マサ子姉と宮原省子姉が8月末に辞任されました。後任には10月24日に副会長であった阿部富美子姉が連盟担当に、池袋教会の坂上(さかがみ)靖子姉が書記担当に、12月6日に保谷教会の木村富久子(ふくこ)姉が副会長担当にそれぞれ承認されました。



3. 「シャロンの花だより」と「連盟会報教区のページ」—両アンケート結果の説明がされました。「シャロンの花だより」は年一回、「ほっとニュース」は適宜発行することになりました。

4. 今期役員会が提唱の「年に一回は近くのルーテル教会の礼拝に出席」—二人の方が「行ってよかった!」の体験談を報告してくださいました。また甲信地区・長野教会の小松紀子姉は大きな地図を手に「一番近い松本教会へは特急電車で1時間、また飯田教会までは特急電車を一部使用しても3時間半かかります」とお話してくださいました。長野県は広く、他教会を訪問することは、とても大変なことが良く分かりました。

5. 東京老人ホーム訪問—10月18日(土)予定していましたが、今回のインフルエンザ問題に鑑みて東京老人ホームの要請で中止となりました。次回の訪問が待たれます。

6. バザー作品や作品のアイデア交換会—来年4月17日(土)に予定しています。見本品の保存をお願いいたします。

7. 諸報告—ACWC(アジア教会婦人会議)、NCC(日本キリスト教協議会)、いつくしみ、女性会連盟に加えて、今回はLWF/WICAS(世界ルーテル連盟)担当の岩野翠姉と東京老人ホームボランティア会世話人代表の徳善規子姉とにそれぞれの活動について報告をしていただきました。徳善姉は「近年はボランティアの参加者がとても少なくなっているの、一人でも多くの方の参加を」と訴えられました。

8. グループ懇談—「教会での男女の働きについて(役割分担を考えてみる)」を礼拝での平岡牧師の奨励を踏まえて5グループに分かれて話し合いました。活発な討論を50分間した後、討論のまとめとして「他の女性会の活動が良かったのが良かった」「自分たちの女性会でも他の教会のやり方をまねることができる」などの発表がなされました。

9. 賛美の時間—中山康子姉が聖公会聖歌集から「しずかにねむる」と、アルゼンチンのパブロ・ソーサ作曲、サラの神の祝福「おおなんという恵みよ」の二曲を指導してくださり、楽しく歌声を合わせました。



10. 物品販売の教会—長野(手作りクリスマス用品等)、蒲田(手作りジャム)、市川(礼拝堂写真の絵葉書)、大森(手作りのパウンドケーキとブラジルのお布巾—売り上げ利益はブラジル伝道に)、小田原(手足の不自由な子供を育てる運動—クリアファイル)。殆どどの品物が売り切れたようです。有難うございました。

## 証し「燃えるがごとき信仰」

八王子教会 益田 勝子



わたくしは、教会で二番目の高齢者で、94歳の一人の女性信徒です。生まれは札幌。受洗した教会は、日本キリスト教会・北一条教会で、息子が熊本・九州学院内ブラウン講堂にあった大江教会で受洗し、日本福音ルーテル八王子教会に転籍した御恵によって現在に至っています。

最近思い起こすことは、札幌の北十七条(現、藤学園近く)に自宅があり、5, 6歳のころであったと思いますが、近くの北海道大学正門前に大きな人の群れがありました。小さなわたくしは走りました。いまや、ホーリネス教会の行進。太鼓を先頭に。「ただ信ぜよ。信ざる者は誰ぞ。みな救われん。」の行進。そして、

わが日本キリスト教会は、もう通り過ぎてしまったのか。

90年前の当時、札幌の大通公園には、独立教会、組合教会などがひしめいていました。その一つが日本キリスト教会の北一条教会でありましたし、ほかにもたくさんありました。このころの人々の信仰は、篤く、熱烈に一家そろっての教会生活。厳寒の中で小さくても、遠くても、雪靴を踏み鳴らし、丈余の雪の中を教会へ、クリスマスへ。今でいう市電の踏み切りに来ると、雪を被ったラッセル車の城のような威容。踏切が開くまでそれを見上げて待つ。泣きたくなるような足の冷え。それでもキリスト者の各家庭は、一家揃って熱心に教会を守った時代でありました。

あの太鼓を打ち鳴らした信徒の群れは、ありのまま天国を目指して行進して行ったのではないのでしょうか。老いたる今、わたくしはあの燃えるがごとき信仰の人々を尊ぶべく思い出しています。

我が家の家訓は、父・林 竹次郎が残した「朝の祈り」の「子らに残すことばはひとつ 我が家は 朝な夕なに祈りする家」、これを子孫だけでなく、多くの信徒の方々が絶やすことなく信仰の真髄として守り続けてほしい。感謝、感謝。

## ご存知ですか

## 問い 針の穴の大きさはどのくらい？

「はっきり言うておく。金持ちが天の国に入るのは難しい。重ねて言うが、金持ちが針の穴を通るほうがまだ易しい」 マタイ19:24

答え どうぞ、ご自分で調べてみてください

あなたの祈りのパートナーと連絡を取っていますか？—「祈りの葉」をお使いください

祈りあい、支えあいましょう。

## 総武・城北地区女性会

## 講演会：「ヒロシマから見たこと」板橋教会にて（2009年11月22日開催）

講師 立野 泰博牧師

報告 板橋教会ぶどうの会 池谷節子

城北地区共同体となって、はじめての女性会活動は9月から準備が始まりました。この事は交わりの良い機会と思い、総武地区の方たちをお誘いしたところ賛同してくださり、あらためて総武・城北地区の地区活動となりました。一番難しかった事は日程を決める事でしたが、各教会のスケジュールを練り合わせ決定しました。

当日は特に寒い日にも拘わらず、総勢39名の参加者があり、盛況のうちに板橋教会において講演会と懇親会が行われました。立野先生はスライドを使いながら、観光では知ることの出来ない貴重な内容を話されました。なかでも1.“平和教育の大切さ、難しさ”と2.

“自分たちも広島のようにになりたい。パレスチナの子供達は日本を知らないが、広島は知っている。原爆で破壊された街が平和都市として復活した。自分たちは平和都市として復活するという「希望」をみている。だから広島に生きる子供たちに、あなたたちの住んでいる街は、紛争にある街に住んでいる子供達にとって「希望」なんだよ、と伝えなきゃいけない、「希望」をなくしてはいけないと”と言う言葉が、スライドの映像とともに心に深く残りました。

また同時に手話通訳を下さった方たちの存在も大きな恵みでした。より多くの方達に平和の大切さをお伝えする事ができました。奏楽においてもあたたかで優雅なオルガンの響きは講演の内容を引き立ててくれました。

さらに総武地区から手作りケーキ持参で参加した2姉妹が、パレスチナの音楽学校へピアノを奉げるため献金活動をされている立野先生へ、売り上げた収益を全てお渡しし、その他にも多くの方達の力が集結した講演会となりました。この機会を通して各教会との交わりを深める事ができ、改めて地区活動の必要性和大切さを感じました。



## 役員紹介

本年8月末に野田マサ子姉(保谷教会)が辞任されました。このたび役員当番教会の保谷教会から木村富久子姉が副会長として役員を引き受けてくださいました。

紹介文 三五 康子 保谷教会

木村 富久子(ふくこ)さん(副会長) — 結婚後はずっと保谷教会に在籍なさり、日曜日は御夫妻でいつも礼拝をもたれます。大変お元気で、明るい方で、ある年は教会会計として、ある年は婦人会会計としてがんばって下さっています。又、イースターやクリスマス祝会には、いつもケーキをたくさん焼き、準備に御奉仕下さいます。

## お知らせとお願い

1. 連盟80周年歴史スライドDVD販売中(一枚1000円)、連盟のシール・はがき等の各種連盟グッズも販売していますのでご利用ください。

申し込み: 169-0072 新宿区大久保1-14-14

ルーテル東京会堂内女性会連盟事務局 [jelc-w@big.or.jp](mailto:jelc-w@big.or.jp)

2. 来年4月17日(土)に予定の会長会では、バザーで販売する品物の作り方やアイデアを交換します。そのために、可能なものは見本を保存願います。

## 第21期役員紹介



写真: 氏名、担当、教会名  
前列左から

さかがみ  
坂上靖子・書記・東京池袋

まつひろ  
松比良節子・文書・藤が丘

安藤淑子・会長・蒲田

後列左から

中島美津江・会計・市川

木村富久子・副会長・保谷

阿部富美子・連盟・羽村

ましろ  
熊谷祥子・副会長・飯田



## 教区女性会の最近の活動および予定

2009年

- ・ 10月24日(土) 10:30~14:00 東教区女性会第2回会長会 於:東京教会  
テーマ「教会での男女の働きについて」
- 14:30~17:00 教区役員会 於:東京教会
- ・ 10月30日(金) 10:30~15:00 ACWC一日研修会 於:日本基督教団富士見町教会
- ・ 12月12日(土) 10:30~12:30 教区役員会 於:ルーテル市ヶ谷センター

2010年

- ・ 1月16日(土) 10:30~12:30 教区役員会 於:ルーテル市ヶ谷センター
- ・ 3月13日(土) 10:30~12:30 教区役員会 於:ルーテル市ヶ谷センター

- ・ 4月17日(土) 10:30~16:00 会長会と講演会 於:ルーテル市ヶ谷センター  
予定 午前 礼拝、諸報告、バザー作品や作品のアイデア交換会、その他  
午後 仮称「傾聴ボランティアについての講演会 その1」講師 賀来 周一牧師

- ・ 5月29日(土) 13:30~16:00 講演会 於:ルーテル市ヶ谷センター  
予定 仮称「傾聴ボランティアについての講演会 その2」講師 福山 <sup>カツメ</sup>和女先生

### 《編集後記》

「ほっとニュース」をお届けいたします。8月末に辞任された野田マサ子・宮原省子両姉もお元気になられたとの嬉しいお知らせをいただきました。またお二人の後任も与えられ心から感謝しています。

御子のお誕生をお祝いする日もまちかです。今年のクリスマスにはご家族、友人、ご近所の方を誘って一緒に教会に行きませんか。かつてあなたも誰かに連れて行ってもらった教会です。今度はあなたが誰かを教会に誘う番です。それにはクリスマスが良い機会です。メリークリスマスそして良い年をお迎えください。

連盟会報と教区の「シャロンの花だより」、「ほっとニュース」に皆様からの投稿、ご意見、ご感想をお待ちしています。Y.A.